Press Release

【報道関係各位】

2026 年 11 月 17 日
ポーラ美術館

フェリックス・ゴンザレス＝トレスの代表作を新収蔵
《「無題」（パーフェクト・ラヴァーズ）》を、12 月 4 日（金）より公開
ポーラ美術館「あたらしい目―モネと 21 世紀のアート」展にて

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）は、フェリックス・ゴンザレス＝トレスの代表作である《「無題」（パーフェクト・ラヴァーズ）》を新たに収蔵いたしました。現在開催中の開館 25 周年記念展「あたらしい目―モネと 21 世紀のアート」にて、12 月 4 日（金）より公開いたします。



フェリックス・ゴンザレス＝トレス《「無題」（パーフェクト・ラヴァーズ）》1987-1990 年、ポーラ美術館蔵
© Estate of Felix Gonzalez-Torres/courtesy Felix Gonzalez-Torres Foundation

《「無題」（パーフェクト・ラヴァーズ）》は、同じ形の、同じ時刻に合わせたふたつの時計を、互いに触れ合うように並べた作品です。

並んで時を刻む時計には、長い時間がたつとずれが生じ、やがて片方が先に止まる未来が暗示されています。1980 年代のエイズ危機を背景に生まれたこの作品は、作家と恋人ロス・レイコックの肖像として、時間を共有することの可能性と不可能性を重ね合わせています。「完璧な恋人たち」という題は逆説的に、永遠の同調は不可能であるという事実を示唆しているかのようです。日用品の組み合わせによって、同じもの同士＝同性の愛を示すその表現には、偏見や検閲、あるいは権威に対する批評性も込められています。

一方で、時計は電池を交換し、時刻を合わせ直すことで、再びともに動き始めます。ふたつの時計は、愛と喪失という個人的な経験を、それぞれの鑑賞者が自らの生や他者との関係に重ねられるかたちで差し出しています。

フェリックス・ゴンザレス＝トレス（1957-1996、キューバ）は、ミニマリズムなど 1960 年代に隆盛した動向を引き継ぎつつ新たな展開をひらいた、90 年代以降の美術史において最も重要な作家の一人です。《「無題」（パーフェクト・ラヴァーズ）》は、ゴンザレス＝トレスを代表する作品のひとつです。「あたらしい目」展にて展示中の、同作家による 3 作品に加える形で、同じ空間に展示されます。

冬の一部展示替えについて

下記のとおり、展示内容が一部変更となります。

11 月 30 日（月）までご覧いただける作品

・中谷芙二子《霧のプロムナード 仙石原》霧の彫刻 #47721（「あたらしい目」展）
　冬季の氷点下となる時期は展示を休止します。展示再開日はウェブサイトでお知らせいたします。
・クリスチャン・マークレー《ドア》（「コレクション・シネマ」展）

12 月 4 日（金）よりご覧いただける作品

・フェリックス・ゴンザレス＝トレス《「無題」（パーフェクト・ラヴァーズ）》（「あたらしい目」展）
・ゲルハルト・リヒター《ムーヴィング・ピクチャー（946-3）京都ヴァージョン》（「コレクション・シネマ」展）

一部展示替えに伴う休館・休室について

12 月 1 日（火）	全館休館
12 月 2 日（水）・3 日（木）	展示室 3「コレクション・シネマ」展のみ休室

【ポーラ美術館について】
2002 年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から 20 世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も収集・展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。



開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285
TEL：0460-84-2111　公式ウェブサイト：www.polamuseum.or.jp

＜報道関係者お問合わせ先＞
ポーラ美術館 広報担当 ： 小野、稲見　TEL: 0460-84-2111
ポーラ美術館広報事務局: 小沢、嶋田　TEL: 03-5572-7351（株式会社プラチナム内）
E-mail: polamuseum-pr@vectorinc.co.jp